

柔軟で生産性の高い働き方をどう実現するかは、日本の大きな課題です。テレワークが増える中、これまでメンバーシップ型雇用だった企業も、ジョブ型雇用への移行を推進するなど、日本全体で働く環境が大きく変わりはじめています。

最近、新しい働き方を推進している企業の方と話をする機会がありました。印象的だったのは「スキルの掛け算」という考えです。スキルは、足し算ではなく、異なる分野の掛け算で考えたほうが、他の人にはない強みを持つことができ、新しいキャリアの道がみえてくるということです。と、周囲でもスキルアップやキャリアチェンジに向けて取り組みを始めている人を多く見かけるようになりました。

## 女性管理職が語る

# スキルはかけ算で考える

ぬまた・あやこ 2001年、コンパックコンピュータ（現日本HP）入社。Eコマースやマーケティングの部署を経て16年にコンシューマーPC製品部へ異動。17年5月から現職。

HP 事業本部 本部長  
沼田 綾子氏



今、ある仕事でフリーランスの皆さんと一緒にプロジェクトに取り組んでいます。全国各地のフリーのプランナーやライター、クリエーターのみならず、一緒に仕事をされる中で、とても刺激を受けています。

「テレワーク越しでも趣意を把握する理解力」「新しいテクノロジーやツールを積極的に取り入れて

より効率的にコラボレーションする力」「アウトプットをシンプルに表現し説明する力」。まさに、時間と場所を超えて働く今の時代に必要とされるスキルなのではないかと感じています。

私はアイデアやプランをまとめる際に、テニスに打ち込むように、誰かに話をし、それを打ち返してもらおうことで形にしていくことが多いです。重要な決断をする場合に、信頼する先輩やメンターに相談することもあ

ります。

人に説明し、聞いてもらうことによって自分の考えを客観的に整理でき、話す、会話のなかで自分に抜けていた視点に気づかせることもあ

ります。

人によって自分の考えが加速し、これまでになかったような仕事や働き方がたくさん生まれてきています。今の会社で次のステップに進むために、または自分の関心や得意を生かして新たなキャリアの準備に向けて一歩を踏みだすため。人生100年、いつでもキャリアチェンジを考えられる時代になりました。

常に、自分にとってのスキルアップ、それを生かす環境づくりやコミュニケーションとは何か、そいつのことを考えることが必要になってくる

## キャリアアップ